

IV. 胃部X線(バリウム)検査を受診できない方

～裏面も検査前に必ずお読みになり、下記に該当する項目がない場合は別紙両面の太枠内を黒ペンでご記入下さい～

※ 安全確保のため、下記項目に該当する方は原則、胃部X線(バリウム)検査を受けられません。予めご確認下さい。

1. 体重が130kg以上(バス検診120kg以上)ある *検査台の耐荷重制限あり
2. 検査台に1人で立つ事、手すりをつかみ体を支える事、横になり6回転する事、検査技師の指示を理解して、スムーズに動く事ができない
3. バリウムの誤嚥(ごえん)経験がある、または飲食時にむせたり、咳き込む事がよくある
4. 人工透析をしている(その予定がある)、または腎臓病や心臓病等により、医師から水分制限を指示されている
5. 在宅酸素療法中、脳にシャント挿入中、心臓にペースメーカーやICD挿入中である
6. 3ヶ月以内に便に血(鮮血・黒色等)や粘液が混ざる事があった *胃潰瘍・大腸憩室・大腸腫瘍の可能性
:拭き取り時ペーパーに少量付着するのみは除く
7. 小腸・大腸憩室炎(憩室がある)、イレウスや腸閉塞、腸捻転、腹膜炎、虚血性大腸炎、クローン病、潰瘍性大腸炎、小腸・大腸がん等、腸の病気を指摘された事がある
8. 食道・胃・十二指腸・小腸・大腸(結腸・直腸)等の消化管の開腹手術や腹腔鏡下手術、ストーマ造設術、何らかの治療を受けた事がある :虫垂炎・ソケイヘルニア手術は除く
9. 脾臓・肝臓・胆のう・膀胱・その他、腹部の手術の際に、胃や腸の切除術を受けた事がある
10. ★3ヶ月以内に食道・胃・大腸ポリープの内視鏡切除術を受けた、または切除して3ヶ月経過後も定期受診を勧められている :ただし主治医の許可があれば検査可
11. ★1年以内に何らかの手術(眼・耳・鼻等は除く)を受けた :ただし主治医の許可があれば検査可
12. ★1年以内に心臓疾患や脳血管疾患等を発症した :ただし主治医の許可があれば検査可
13. ★腹部・胸部・脳等の動脈瘤や動脈解離を指摘された事(手術後も含む)がある
:ただし主治医の許可があれば検査可
:脳動脈瘤は定期検査し大きさが5mm未満の場合は検査可
14. ★現在、がんの治療中である :ただし主治医の許可があれば検査可
15. 下剤・発泡剤・バリウムでアレルギー症状(かゆみ・息苦しさ・ショック症状等)が出た、気分不良になった、バリウム検査後の便が出づかった事がある(検査後24時間以内に便が出なかった・何らかの処置を受けた等)
16. 普段、便通異常(高度の便秘や下痢)がある
 - ① 3日以上便がでない事がよくある *バリウム停留による腸閉塞・消化管穿孔の可能性
 - ② 検査当日を含め便秘4日目である *バリウム停留による腸閉塞・消化管穿孔の可能性
 - ③ 便秘の時に腹痛や吐き気等がある *腸狭窄や腸閉塞の可能性
 - ④ 3ヶ月以内に急に下痢や便秘がちになった *大腸の部分的閉塞や大腸腫瘍の可能性
 - ⑤ 下剤を飲んでも便が出づらい(普段から多量の下剤を服用している)
17. 検査前の血圧が高い(血圧160/100mmHg以上)
18. 検査当日、体調不良や下記症状等がある、または最近、体重減少がある
発熱37.5度以上・腹痛・下痢・めまい・ひどい頭痛
ひどい腰痛・ひどい関節痛・喘息症状・アレルギー症状
19. 検査当日の朝、飲食した :検査2時間前までにコップ1杯程度の水のみ飲水可
20. 主治医より、てんかん・けいれん止めの薬を、朝服薬するよう指示されているが、検査当日の朝、飲んでこなかった *けいれん発作の可能性
21. 検査当日の朝、胃薬(胃粘膜保護薬)を飲んだ *胃粘膜にバリウムが付着しづらく検査精度が低下
22. 検査当日の朝、糖尿病の薬を飲んだ、インスリン注射を使用した *低血糖の可能性
23. 検査当日の朝、タバコを吸った *喫煙により胃液が増え検査精度が低下
24. 現在、妊娠中または妊娠の可能性がある *放射線被曝による影響の可能性
25. 問診・診察・検査室等にて検査不可や検査困難と判断された場合

胃がん検診のお知らせ②

消化管の病気で手術を受けたり治療中の方、胃の痛みや不快感等の症状を有する方は、医療機関で胃内視鏡(胃カメラ)検査を受ける事をお勧めします。

※10.~14.★に該当する場合、胃バリウム検査を希望される方は、事前に主治医へ確認して下さい。